

## 事後評価調書(案)

I 事業概要								
事業名	農業農村整備事業（地盤沈下対策事業）							
地区名	日光川二期地区							
事業箇所	名古屋市、津島市、愛西市、あま市、海部郡蟹江町							
事業のあらまし	<p>本地区は愛知県西南部の津島市始め4市1町にまたがり、二級河川福田川と二級河川善太川に挟まれた流域面積3,302.6haの平坦な農村地域である。</p> <p>地区内の用排水路及び揚水機場は1950年代から、たん水防除事業やほ場整備事業等により造成されたが、1960年代半ばからの急激な地盤沈下により、施設の著しい機能低下が生じたため、豪雨時には農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じるとともに、必要な用水の配水が困難となり営農に支障をきたしていた。</p> <p>このため、排水路、用水路及び揚水機場を改修し、施設機能を従前の状態に回復することにより、県民生活の安全・安心及び安定した農業経営の実現を図ることを目的として、1990年度から地盤沈下対策事業を実施し、2015年度に完成した。</p>							
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機能低下した排水路を改修し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。（基準雨量 320mm/3日、1/20年確率降雨量）</li> <li>機能低下した用水路及び揚水機場を改修し、用水を安定供給することで、農業経営の安定を図る。</li> </ul> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>							
事業費	事業費		内訳					
	106.3億円		■工事費 89.1億円、 ■用補費 8.9億円、 ■その他 8.3億円					
事業期間	採択年度	1990年度	着工年度	1991年度	完成年度	2015年度		
事業内容	排水路工 22.2km		用水路工 6.3km		揚水機場 1か所			
II 評価								
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	【達成状況】						
		事業完了年度からの5年間で、最大3日連続降雨量は2017年10月20日～10月22日に275.0mmを観測したが、農地や農業用施設、公共施設等の湛水被害は発生していない。						
		降雨実績 (愛西観測所降雨データ)						
		区分	計画	2015	2016	2017	2018	2019
		最大3日連続降雨量	320.0mm	161.0mm	205.0mm	275.0mm	193.0mm	110.0mm
		用水路及び揚水機場の改修により、用水が安定供給され、安定した営農が行われている。						
作付面積		区分		計画(2010)	実績(2020)			
		水稻		164.6ha	155.7ha			
平均単収		区分		計画(2010)	実績(2020)			
		水稻		502kg/10a	506kg/10a			
		【達成状況に対する評価】						
		最大3日連続降雨量は計画基準雨量以下であるが、湛水被害は発生しておらず、本事業は県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。また、用水が安定供給され、概ね計画どおりの営農が行われており、本事業は農業経営の安定に寄与していると評価できる。						

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】 —</p> <p>【達成状況に対する評価】 —</p>																																																		
②事業効果の発現状況		<p>【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】</p> <table border="1" data-bbox="371 347 1426 909"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>再評価時(3回目) (2010)</th> <th>実績 (2020)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>1990～2012 (23年間)</td> <td>1990～2015 (26年間)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>114.1</td> <td>89.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>9.0</td> <td>8.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>15.7</td> <td>8.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>138.8</td> <td>106.3</td> <td>32.5億円減</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">効果の 算定要因</td> <td rowspan="3">排水</td> <td>流域面積</td> <td>3,302.6 ha</td> <td>3,302.6 ha</td> <td>増減なし</td> </tr> <tr> <td>農地面積</td> <td>2,094.7 ha</td> <td>2,007.5 ha</td> <td>87.2ha 減</td> </tr> <tr> <td>宅地等面積</td> <td>1,207.9 ha</td> <td>1,295.1 ha</td> <td>87.2ha 増</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">用水</td> <td>作付面積(水稲)</td> <td>164.6 ha</td> <td>155.7 ha</td> <td>8.9ha 減</td> </tr> <tr> <td>平均単収(水稲)</td> <td>502 kg/10a</td> <td>506 kg/10a</td> <td>4kg/10a 増</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業期間に対する評価】 付帯工事及び建物事後調査等により事業期間を3年延長したが、計画期間内に本体工事は完了していたため、期間延長による影響はなかった。</p> <p>【事業費に対する評価】 関係市町及び他機関との調整により一部路線を他事業対応等としたため、事業費が32.5億円減少した。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】 再評価時(3回目)と比較して流域面積の増減はなく、農地面積は減少しているものの、排水路の改修により湛水被害は防止されている。また、用水路の改修により用水が安定供給され、安定した農業生産が行われていることから、効果については、概ね計画どおり発現していると評価できる。</p>	項目		再評価時(3回目) (2010)	実績 (2020)	備考	事業期間		1990～2012 (23年間)	1990～2015 (26年間)		事業費 (億円)	工事費	114.1	89.1		用地補償費	9.0	8.9		その他	15.7	8.3		合計	138.8	106.3	32.5億円減	効果の 算定要因	排水	流域面積	3,302.6 ha	3,302.6 ha	増減なし	農地面積	2,094.7 ha	2,007.5 ha	87.2ha 減	宅地等面積	1,207.9 ha	1,295.1 ha	87.2ha 増	用水	作付面積(水稲)	164.6 ha	155.7 ha	8.9ha 減	平均単収(水稲)	502 kg/10a	506 kg/10a	4kg/10a 増
	項目		再評価時(3回目) (2010)	実績 (2020)	備考																																															
	事業期間		1990～2012 (23年間)	1990～2015 (26年間)																																																
	事業費 (億円)	工事費	114.1	89.1																																																
		用地補償費	9.0	8.9																																																
その他		15.7	8.3																																																	
合計		138.8	106.3	32.5億円減																																																
効果の 算定要因	排水	流域面積	3,302.6 ha	3,302.6 ha	増減なし																																															
		農地面積	2,094.7 ha	2,007.5 ha	87.2ha 減																																															
		宅地等面積	1,207.9 ha	1,295.1 ha	87.2ha 増																																															
	用水	作付面積(水稲)	164.6 ha	155.7 ha	8.9ha 減																																															
		平均単収(水稲)	502 kg/10a	506 kg/10a	4kg/10a 増																																															
③事業実施による環境の変化	<p>工事施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用するとともに、路線の一部において、水生生物に配慮した環境配慮型水路を設けたため、生活環境や自然環境への影響を最小限に抑えることができた。</p>																																																			
<b>III 対応方針(案)</b>																																																				
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。																																																			
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。																																																			
同種事業に反映すべき事項	地理的要件から、河川改修、鉄道の高架化及び送電塔の移転等、他機関と同時に施工すべき場合において、相手方の計画の進捗具合や施工時期について適宜確認し、把握することが重要である。また、協議時には施工方法について詳細な検討が行われ、時間を要するため、十分な期間を確保することも重要である。																																																			
<b>IV 事業評価監視委員会の意見</b>																																																				
<b>V 対応方針</b>																																																				